

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 株式会社イノベーション 上場取引所 東
 コード番号 3970 URL <https://www.innovation.co.jp/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO 兼 COO (氏名) 富田 直人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 山崎 浩史 (TEL) 03(5766)3800
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	932	—	50	—	50	—	22	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 22百万円(—%) 2019年3月期第2四半期 1百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	11.47	11.39
2019年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年3月期第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2020年3月期第2四半期における前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,164	864	74.2
2019年3月期	1,115	868	77.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 864百万円 2019年3月期 868百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,920	29.1	100	506.5	100	422.6	40	348.2	20.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社Innovation & Co.、除外 1社(社名) —

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期2Q	1,998,600株	2019年3月期	1,964,200株
2020年3月期2Q	47,159株	2019年3月期	—株
2020年3月期2Q	1,960,354株	2019年3月期2Q	1,964,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府及び日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景に企業収益が堅調に推移するなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米国の経済政策運営の影響等による世界経済の不安要素の増大や、消費税率引き上げによる景気悪化懸念等、先行きは不透明な状況にあります。

このような環境のもと、当社グループは、創業以来培ってきた営業、マーケティング、そしてテクノロジーのノウハウを活用して、「法人営業の新たなスタイルを創造する」事業の拡大に取り組んでまいりました。当第2四半期累計期間の売上高は、営業を中心とした人材採用の強化と費用対効果の高い集客施策の実施により、概ね計画通りに進捗いたしました。また、利益面においても、販売管理費の抑制等に努め好調に進捗いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社の売上高は932,380千円、営業利益は50,703千円、経常利益は50,887千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は22,487千円となりました。

報告セグメント別の業績の詳細は、以下のとおりであります。

(オンラインメディア事業)

オンラインメディア事業の主力である「ITトレンド」及び「BIZトレンド」においては、当第2四半期連結累計期間の来訪者数(延べ人数)(注1)は集客施策等へ積極的な投資を行ったことが功を奏し、Googleの検索結果の表示順位が回復傾向にあることから、3,189,757人となりました。以上の結果、オンラインメディア事業の売上高は770,607千円、セグメント利益は254,648千円となりました。

(注) 1. 当社が定める来訪者数(延べ人数)とは、アクセス解析ツール「Google アナリティクス」(注2)における「セッション数」(注3)を指しています。

(注) 2. 「Google アナリティクス」とは、Google LLC.(グーグル)が無料で提供するWebページのアクセス解析サービスです。

(注) 3. 「セッション数」とは、「Google アナリティクス」における「セッション」を指しています。セッションとは、特定の期間にWebサイトで発生した一連の操作のことです。

(セールスクラウド事業)

セールスクラウド事業の主力製品である「List Finder」においては、提携会社による販売の打ち切りにより、当第2四半期連結会計期間末のアカウント数は470件となったものの、アカウント当たりの単価は上昇いたしました。以上の結果、セールスクラウド事業の売上高は161,773千円、セグメント利益は9,664千円となりました。

なお、2019年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

資産合計は1,164,723千円となり、前連結会計年度末に比べ48,844千円増加いたしました。これは主に、繰延税金資産が16,014千円増加し、のれんを70,382千円及び投資有価証券50,000千円を計上した一方で、現金及び預金が41,992千円、売掛金が31,162千円及び前払費用が27,257千円減少したことによるものであります。

負債につきましては299,924千円となり、前連結会計年度末に比べ52,742千円増加いたしました。これは主に、買掛金が31,099千円増加したことによるものであります。

純資産につきましては864,798千円となり、前連結会計年度末に比べ3,897千円減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益22,487千円を計上した一方で、自己株式39,968千円を取得したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ41,992千円減少し、619,636千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は162,473千円となりました。この主たる要因は、税金等調整前四半期純利益50,887千円、減価償却費10,939千円、売上債権が32,623千円減少、仕入債務が31,099千円増加、前払費用が36,722千円減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果、支出した資金は151,109千円となりました。この要因は無形固定資産の取得による支出26,386千円、投資有価証券の取得による支出50,000千円及び子会社株式の取得による支出72,746千円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果、支出した資金は53,356千円となりました。この主たる要因は、長期借入金の返済による支出14,988千円及び自己株式の取得による支出39,968千円によるものであります。

なお、2019年3月期第3四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりますので、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	1,820	50	50	34	17.31
今回予想 (B)	1,920	100	100	40	20.07
増減 (B-A)	100	50	50	6	—
増減率 (%)	5.5	100.0	100.0	17.6	—
ご参考 (前期実績)	1,487	16	19	8	4.54

詳細につきましては、本日(2019年11月11日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	661,628	619,636
売掛金	227,277	196,115
前払費用	82,731	55,473
その他	2,768	2,282
貸倒引当金	△174	△711
流動資産合計	974,230	872,796
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	10,969	10,421
工具、器具及び備品（純額）	3,887	3,680
有形固定資産合計	14,856	14,102
無形固定資産		
ソフトウェア	47,499	56,824
ソフトウェア仮勘定	8,712	14,692
のれん	—	70,382
その他	0	0
無形固定資産合計	56,212	141,900
投資その他の資産		
投資有価証券	—	50,000
繰延税金資産	43,797	59,811
その他	26,927	26,177
貸倒引当金	△145	△64
投資その他の資産合計	70,578	135,924
固定資産合計	141,647	291,926
資産合計	1,115,878	1,164,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	47,595	78,695
1年内返済予定の長期借入金	29,976	29,976
未払法人税等	33,850	49,654
未払費用	67,851	69,366
その他	48,638	63,175
流動負債合計	227,911	290,867
固定負債		
長期借入金	19,271	4,283
株式給付引当金	—	4,774
固定負債合計	19,271	9,057
負債合計	247,182	299,924
純資産の部		
株主資本		
資本金	341,267	348,059
資本剰余金	320,677	327,469
利益剰余金	206,751	229,239
自己株式	—	△39,968
株主資本合計	868,696	864,798
純資産合計	868,696	864,798
負債純資産合計	1,115,878	1,164,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	932,380
売上原価	487,512
売上総利益	444,867
販売費及び一般管理費	394,163
営業利益	50,703
営業外収益	
受取利息	3
雑収入	734
営業外収益合計	738
営業外費用	
支払利息	148
創立費	220
支払手数料	150
その他	35
営業外費用合計	554
経常利益	50,887
税金等調整前四半期純利益	50,887
法人税、住民税及び事業税	44,414
法人税等調整額	△16,014
四半期純利益	22,487
親会社株主に帰属する四半期純利益	22,487

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	22,487
四半期包括利益	22,487
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	22,487
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前当期純利益	50,887
減価償却費	10,939
受取利息及び受取配当金	△3
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	409
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	4,774
支払利息	148
株式報酬費用	2,996
売上債権の増減額 (△は増加)	32,623
仕入債務の増減額 (△は減少)	31,099
未払費用の増減額 (△は減少)	3,518
前払費用の増減額 (△は増加)	36,722
その他	14,323
小計	188,439
利息及び配当金の受取額	3
利息の支払額	△139
法人税等の支払額	△25,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	162,473
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,976
無形固定資産の取得による支出	△26,386
投資有価証券の取得による支出	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△72,746
投資活動によるキャッシュ・フロー	△151,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△14,988
自己株式の取得による支出	△39,968
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△41,992
現金及び現金同等物の期首残高	661,628
現金及び現金同等物の四半期末残高	619,636

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月27日開催の取締役会決議に基づき、自己株式47,100株の取得を行っております。また、2019年6月21日開催の株主総会決議に基づき、譲渡制限付株式を14,000株発行いたしました。この他、第1四半期連結会計期間において新株予約権の行使により普通株式が20,400株増加いたしました。この結果、単元未満株式の買取による自己株式の増加を含め、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本準備金がそれぞれ5,922千円、自己株式が39,968千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が348,059千円、資本準備金が327,469千円、自己株式が39,968千円となっております。

(企業結合等関係)

(共通支配下の取引等)

当社は、2019年7月16日開催の当社取締役会決議に基づき、2019年9月2日付けで、既存のオンラインマーケティング事業およびセールスクラウド事業に関する権利義務を会社分割により新たに設立する株式会社Innovation & Co. (イノベーションアンドカンパニー) に承継いたしました。

1 会社分割(新設分割)の概要

① 対象となった事業の名称、内容、規模

事業の名称：オンラインメディア事業及びセールスクラウド事業

事業の内容：オンラインメディアの運営及びマーケティングオートメーションツールの提供

事業の規模：売上高 1,484百万円(2019年3月期実績)

② 企業結合日

2019年9月2日

③ 企業結合の法的形式

当社を分割会社とし、株式会社Innovation & Co. (イノベーションアンドカンパニー) を新設会社とする新設分割(簡易新設分割)であります。

④ 新設会社の概要

名称	株式会社Innovation & Co. (イノベーションアンドカンパニー)		
資産・負債及び純資産の額	資産の額	77,401千円	
	負債の額	47,401千円	
	純資産の額	30,000千円	

2 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」及び「企業結合会計基準及び事業分離当会計基準に関する適用指針」に基づき、共通支配下の取引として処理しております。